

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 613 2018年 11月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

今、なぜ、麻疹・風疹!?

感染対策委員会

ワクチン接種で予防可能



医師 一ノ瀬義雄

麻疹 (はしか)

「くらしと健康」を手取る世代の方には、麻疹(はしか)、風疹の流行が新聞報道やテレビのニュースになる時代というのは不思議な印象があるかもしれません。一方で若い世代の人にとっては、小児期に適切なワクチン接種を受ければ罹ることのない病気となっており、身近に麻疹や風疹を意識する機会がありません。以前なら普通の子供のかかる病気として考えられていた、麻疹、風疹が今なぜ問題になっているのかについてお話したいと思います。

妊婦

ワクチン接種は禁忌!



今年のGW前に沖縄県を中心に麻疹の流行があったことは、まだ記憶に新しいかと思えます。麻疹の原因となる麻疹ウイルスの感染力は、「最強」と言われています。ウイルスが空気中を漂って人から人へ感染します。たとえば、インフルエンザが感染するのは、咳やくしゃみの飛沫がとどく「2メートル」以内ですが、麻疹は同じ室内にいてだけで感染します。インフルエンザと比べると、その感染力は10倍と言われます。典型的な麻疹の症状は、風邪のような症状後、赤いぶつぶつ(発疹)が出て全身に広がります。その後39度台の熱が出て、のどの痛みや、息苦しくなったりと、かなり苦しい状態になります。3〜4日、そうした症状が続いた後はゆっくりと回復し、発疹も消えます。麻疹の特効薬はないので、解熱鎮痛薬などを使いながら体の回復を待ちます。この経過中にさまざまな合併症がみられます。とくに肺炎や脳炎では死亡原因となることがあります。 確実な予防方法はワクチンの接種です。かつて、麻疹は日本社会に定

子ども

定期接種を確実に



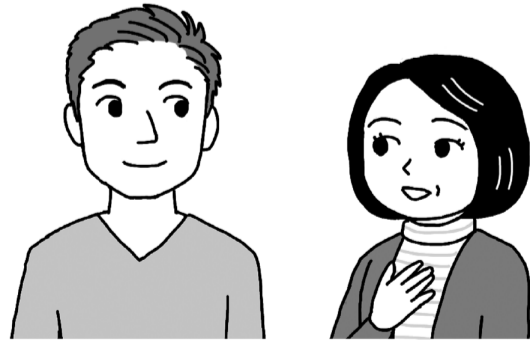
この記事を書いている10月現在、首都圏を中心に

風疹

着しており、たびたび流行が起きて年間20万人の患者が発生したこともありました。1978年から定期接種が始まりましたが、当初は1回接種のみで、この世代の免疫が落ちてきたために、現在も散発的な流行が見られます。2006年以降は現在のような2回接種が行われ発生患者数が減少しています。

大人

39歳以上の男性、56歳以上の女性は、1回もワクチンを接種していない可能性も (年齢は2018年4月1日時点)



に風疹の大流行がおさまっていません。風疹も感染力の強い病気です。風疹で特に問題となるのは、妊娠中の女性がかかると、胎児に大きな影響(心臓の病気や難聴)がでます。2012〜20

13年の流行時は1万6千人超の患者と45名の先天性風疹症候群の患者さんが報告されました。麻疹と同じように、日本ではワクチン接種の空白世代の方が多くいます。妊娠をする女性だけでなく、周りの男性もワクチンによる確実な予防が必要です。 訪日観光客の急激な増加や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、流行地域からの輸入感染症として今後国内での流行が予想されます。麻疹・風疹はワクチンによる予防が可能な病気です。過去のワクチン接種歴、罹患歴がはっきりしない場合は、正確な情報を得るために医療機関で抗体価検査を行い把握することが大切です。自治体によっては補助制度もあるの

千駄の萱

自民党総裁選の最中、朝日テレビの報道ステーションでの安倍・石破両氏の討論に、安倍さ

んの本性が見えた。意味不明の長話とキョロキョロ動く目を見て、やっぱりこの人は病氣だと思っただけではないはずだ。しかし、麻生・菅を中核とした安倍内閣は発足してしまった。「憲法改正内閣」と付けた本音を隠し、「全員野球内閣」という情けない名前にして、私達国民の厳しい視線をそらす(いつもの手口)とするかのようだ。さて、失言の多さで有名な麻生氏は憲法改正について、5年前、こともあろうに「ナチスの手口を学んだらどうか」との本音を吐いている。そして、その後5年の間に多くの反対を巧みにかわしながら、戦争ができる国造り等を進め、ついに日本国憲法という目障りな城を落とす最終段階に到達しつつある。私達は、今年3月に自民党が提示した憲法修正案の緊急事態条項に注意しなければならぬ。この条項こそ「ナチスの手口」であり、既に壊れかけている三権分立に致命傷を与え、内閣独裁政治を可能にするものと言える。9条改正論議だけにだまされてはいけない。